

消化器がん検診用語集第4版（2023）発刊のご挨拶

前版の発刊から早くも4年が経過しました。その間にも消化器病学領域では新しい疾患概念や検査法が現れてきておりますので、前版の改訂を行う必要があると判断致しました。

今回の改訂では、前回の編集方針を踏襲し消化器がん検診の調査、研究などに必要な用語にできるだけ特化した用語集と致しました。消化器病関連の用語については、他学会でも用語集を編纂しておりますが、それら一般臨床系の用語集には収載されていないと思われるがん検診に関する用語をできるだけ拾い上げるようにしました。

また、費用を要する紙媒体を用いた出版形式を採用せず修正や改訂が容易なWEB上での公開という形式は、前版と同様です。用語の正確性については、細心の注意を払いましたが、もし不適切な用語があればご連絡いただけると幸いです。

今回の改訂では、新たに用語集改訂小委員会を組織し、編集委員会と協働で作業を行いました。2年計画の改訂作業でしたが、計画に沿った作業を達成できたのは多忙な診療や研究の時間を調整し、編集作業をすすめていただいた各委員のご尽力の賜物と深謝致しております。また、前回改訂と同様に用語の誤字脱字やスペルチェックなど学会事務局の皆様のご多大なご助力がなければ、本用語集の完成はなかったと思います。改めて、感謝申し上げます。

本用語集が、消化器がん検診分野の調査・研究あるいは一般市民への啓発活動の際に会員皆様の有用なツールとなることを願ってやみません。

令和5年7月吉日

日本消化器がん検診学会編集委員会・用語集改訂小委員会

委員長 西田 博